

「まちの廃棄物を新素材のアートに!!」
素材デザイナーが地域から出る廃材を使った滞在制作に参加

捨てる神あれば、拾う神あり展



関わる人の主体性向上をミッションに掲げる株式会社On-Co(本社:三重県桑名市、以下 On-Co)が運営するアップサイクルコミュニティ「上回転研究所」は、10/15～11/27に長野県辰野町のトビチ美術館にて開催される「捨てる神あれば、拾う神あり展atトビチ美術館2022」(主催:一般社団法人〇と編集社、以下〇と編集社)に出展します。

出展に伴い、素材デザイナー村上結輝(上回転研究所所長)が10/8～10/17の10日間滞在。まちから出る廃棄物を使った制作・展示を行います。アップサイクルアートで、地域資源の再発見・再編集する機会へと繋がります。

■空き家活用が進み共創人口が増える辰野町

少子高齢化や人口減少などにより増え続けている空き家。2040年には空き家率が40%を超えると予測され、深刻な社会問題となっています。

長野県辰野町(以下辰野町)は、空き家活用促進と新たな人流創出に向けて、〇と編集社筆頭に官民連携で取り組む「空き家バンク」(登録件数208件/成約率73%)や、シャッターもまちの個性として育む「トビチ商店まち」などを通して、関係人口と共創人口の増加を進めています。

■空き家を美術館と見立てる「トビチ美術館」

トビチ美術館は、「暮らしとアートがより身近になること」を目指し、〇と編集社が2021年から10年計画で取り組んでいるプロジェクト。空き家や空き店舗を美術館とみだてて開催されます。

上回転研究所は、トビチ美術館の出展条件が「地域の空き家から出る古材や不要品等を利用したアート製作を行うこと」であり「空き家の片付けや認知拡大、空き家の活用や新たな人流の創出に繋げる」というコンセプトに共鳴し、出展することとなりました。



↑地域の空き家から回収した不用品等



↑改装時に出る廃棄物

■上回転研究所について

廃棄問題に関心を持つ若者や企業等が集まるアップサイクルコミュニティです。立派な設備や専門知識がなくてもまるで料理をするように開発を行うのが特徴です。

関わる人一人一人が廃棄物の分別を徹底かつ減量化する努力を行い、最終的にはゴミ箱が不要になる社会を目指しています。

■素材デザイナー村上結輝について

株式会社On-Co 上回転研究所 所長

コロナ禍を機に大量生産大量消費の中で暮らしていた自分の生活を見直すようになり芸術大学の卒業制作でバナナ皮からレザー素材を開発。

身近な廃材を美しい素材に生まれ変わらせることで、アップサイクルの考え方や可能性を感じてもらい、社会課題を「自分ごと化」するきっかけを創出している。



■一般社団法人〇と編集社

代表：赤羽孝太

創業：2018年10月

住所：長野県上伊那郡辰野町辰野1705-1

電話：090-7193-3589 | 0266-88-9198

メール：revision@maruto.or.jp

HP：<https://maruto.or.jp/>

その〇に入る人やまちと一緒に伴奏をしてスポットライトを当て、〇の未来にワクワクする人を増やすことをミッションに掲げ、辰野町の事業創出、空き家を含めた不動産運営、クリエイティブディレクションなどを行う。

■株式会社On-Co

代表：水谷岳史/藤田恭兵

創業：2019年3月

住所：三重県桑名市西別所1375

HP：<https://on-co.jp/>

ミッションは関わる人々の主体性を向上させ、挑戦が溢れる面白い世の中をつくること。さかさま不動産や丘漁師組合、上回転研究所などのプロジェクトを展開している。

本件に関するお問い合わせ

窓口：福田

TEL ☎：080-5984-7800

mail ✉：support@on-co.co